

医療的ケア児等支援部会取組事項（案）

	課 題	内 容	対応案	取組事項 (実態を明確にする根拠資料の作成)	
A	通園・通学	医療的ケアが必要なため、入園、入学できない	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園勤務の看護師による柔軟な対応 ・訪問看護事業所からの派遣事業の制定 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立小中学校の受け入れ態勢はどうなっているか。 ・入園、入学の希望者はどれくらいいるのか。 	
B	保護者の就労	時間を確保できないため、就労できない	<ul style="list-style-type: none"> ・他の課題（AやCなど）の解消による就労時間の確保 		
C	介護者の負担・不安	介護負担	まともな睡眠時間を確保できない	<ul style="list-style-type: none"> ・課題E「障がい福祉サービス」の解消によるサービス利用の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどのような介護等があるのか。 ・1日のスケジュールはどのようなものか。 ・レスパイト入院できる医療機関の情報収集。
		スキル	人工呼吸器等機器の取扱いや吸引、入浴介助等高度な介護スキルが必要である		<ul style="list-style-type: none"> ・どのような医療機器があるのか。 ・必要な医療的ケアや介護の技術はどのようなものがあるか。
		精神的負担	ヘルパー（他人）を家に入れること、病院生活から在宅ケアに移ること、周囲の目への不安		
D	情報	関係者の知識不足、情報不足、関係機関の連携不足等に伴う保護者自身による情報収集への負担		ガイドブックの作成、医療と福祉の連携、医療的ケア児等コーディネーター中心の相談体制の構築を現在進行中。	
E	障がい福祉サービス	医療的ケア対応の事業所、ヘルパーが少ない		<ul style="list-style-type: none"> ・どれだけ不足しているのか。 ・社会資源（サービス事業所、レスパイト対応病院等）はどれだけあるのか（資源マップの作製）。 ・対応可能な事業所への依頼 	
F	きょうだい支援	他のきょうだいの育児に手が回らない。我慢させていることもある。		<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだいの数、就学状況 ・きょうだいの声を集める ・事例（うまくいった、いかなかったこと）を集める 	
G	災害対応	医療機器の電源確保、避難所生活の不安	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブックの作成 ・個別計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常から準備が必要なものや避難先の確認 ・計画は誰がどこへどのように移動するか詳細に ・実際に避難訓練を実施 	
H	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・親亡き後の問題 			